

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」姥ヶ山校		
○保護者評価実施期間	2024年11月11日		～ 2024年12月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数) 51
○従業者評価実施期間	2024年12月14日		～ 2024年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育と併せて児童発達支援の小集団活動を定期開催して、集団生活の土台づくりの支援が可能なこと。 また放課後等デイサービスについても定期的にイベントを実施し小集団療育を実施できていること。	・個別と集団を組み合わせたり、祝日にイベントを開催するなどして個別支援と集団活動のニーズを満たすよう工夫している。 ・異年齢児が関わることによって、年上のお子さんの良い見本を見たり年下のお子さんに対して思いやりの気持ちを持ったりすることができている。	平日午前中の小集団活動も実施予定。回数を増やすことで年齢ごとに時間や曜日を区切るなどの支援体制を作り、よりお子さま一人ひとりに合った支援の提供ができるようにする。
2	広い駐車場があり、保護者の送迎・戸外活動などにも利用ができること。	・十分な駐車スペースがあり、送迎の際に車の置き場を心配する必要がないため、支援見学や保護者参加型の支援の提供が可能。 ・校舎敷地内の駐車場であるため安全に戸外遊びをすることができることから季節の遊び(水遊び・雪遊びなど)にも取り組んでいる。	広い駐車場を活かしての戸外活動の充実を今後も図っていく。 またママカフェなどの保護者会などの定期実施も検討中。
3	専門的支援実施の経験年数を満たした保育士が多く、専門的な支援が可能なこと。	・保育士経験を活かし、特に未就学のお子さま間に対する支援はより高い専門性を持って関わる事ができている。 ・遊びを通してさまざまな体験を提供することが可能であり、楽しんで活動に取り組みながら生活に必要な力を養うことができている。	個別療育に限らず小集団療育でも専門性を活かしたプログラムを提供していく。 小学生以上のお子さまに対しても遊びを通した活動を提供していくことで楽しみながら力を付けていけるように工夫していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育士は充実しているが、PT・OT・STがおらず、言葉や手先の巧緻性などの支援の専門性に欠けることがある。	自事業所にST等の有資格者の配置がない。	自事業所にはST等の配置はないが、近隣のきらりや全国には在中しているため、会社内で連携を取りながらより専門的な支援が提供できるように努める。
2	運動遊びをするには施設が狭いという意見がある。	個別支援が中心のため、ホワイトボードや机などで事業所内を区切っており、運動遊びをするにはスペースが限られている。	一時間の受け入れ人数によってはホワイトボード等の仕切りを動かして空間を広くするなど工夫する。また、天候によっては戸外活動に切り替えるなどしてのびのびと過ごせるような工夫を図っていく。
3			

事業所名	こどもサポート教室「きらり」姥ヶ山校
------	--------------------

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 52 回収数 51

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	44	6	0	1	ボール遊び等、体を動かせるスペースもある。十分かという点個々のスペースは限りがあるが、希望した際に子供のスペースを使わせてもらい、本人が前向きに参加するようになったので対応に感謝しています。	運動遊び等に関してはスペースの確保ができるよう、パーティションなどの配置を適宜変更するなどして対応してまいります。また、今後お子さまの特性やご希望に合わせて個室での支援が提供できるよう努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	42	8	0	1	異動・研修が多いので継続して見てもらいたい。	今年度、職員の異動が多く大変ご迷惑とご心配をおかけいたしましたこと、お詫び申し上げます。適切な配置数で今後も継続して運営してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	46	3	0	2	子どもが集中しやすいように掲示物の配慮、見てすぐ理解できる予定表がある。	限られたスペースの中でできるだけ安心感を持って落ち着いて過ごせるよう、今後も必要な工夫を続けてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	44	6	0	1	どの場所も整理整頓されている。時々、学習テーブルに前の人の消しカスやのりがついていることがあります。カーペットや壁紙がそろそろ気になってきた。夏の冷房がとてよく効いていて寒く感じる。	支援の入れ替わり等での環境整備について徹底してまいります。また冷暖房等についてもお子さまが健康的に過ごせる環境を意識し設定します。壁・カーペット等の張り替えに関しては再度検討のうえ対応してまいります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	45	4	0	2	職員の差があることあるので継続して同じ職員に見てもらいたい。その日の子ども心の状態にも合わせた支援を常に受けられている。先生の方が親よりも苦手な部分が見えていることも多く、支援を考えてくださり、本当に助かっています！	日々、職員間で綿密な情報共有等を行いながら支援に当たっております。支援の質向上を目指し、日々研修を行ってまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	48	1	0	2	要望を聞いてもらえるプラス点はありますが、放デイからの提案があればさらに嬉しい。もう少しハードルを上げて可也。	基本の支援プログラムを基にお子さまやご家族の皆さまからのご要望やその日のお子さまの様子を踏まえた支援を行っております。今後、必要に応じて事業所からの提案も積極的にできるよう努めてまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	51	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	46	5	0	0	本人支援が主なので。	個別支援計画に本人支援・家族支援・移行支援について明記し、お子さま一人ひとりに合わせた支援プログラムを立案しております。今後も継続していけるよう尽力いたします。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	51	0	0	0	宿題を忘れても苦手なことを伝えておく対策プリントを出してくれ助かります。	計画内容に基づき、今後も継続した支援を提供できるよう努めてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	47	3	0	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	11	14	12	そろそろ近頃のきらりと交流したりしてもいいと思います。イベントを通して他の曜日・時間のお子さんとも交流できた。特に必要ないと思っています。特に必要はない。	お子さまの状況を踏まえ、現在は地域のお子さまとの交流の機会はありませんでした。今後、ご要望と状況を踏まえて検討してまいります。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	51	0	0	0	分からない部分があるといつも親切に教えてくれてありがたいです。	今後も契約時等には丁寧な説明を心掛けて対応してまいります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	51	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	36	7	1	7		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	49	2	0	0	どの先生方も毎回親子に寄り添い、困りごとがあれば迅速な対応をさせていただいている。	今後ご家族の皆さまとのコミュニケーションにも力を入れて取り組んでまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	45	6	0	0	週に一度支援の様子を見る日を設けてくれるので子どもの様子がよく分かります。	支援後のフィードバックを中心に、いつでもご相談を受け付けております。今後も必要に応じて面談のお時間を設けるなどして丁寧な対応を心掛けてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	49	2	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	25	7	3	16	イベントが日頃のくらしい集まっているのかわかりませんが、いろいろな子どもたちと交流するのは良いと思います。ババだけの保護者会があるといいですね。特に必要ないと思っています。	今年度夏に「きらりカフェ」を実施いたしました。今後も定期開催できるよう調整してまいります。	
19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	44	3	0	4	学校から出る宿題やLINEで子どもが苦手なことを共有でき、対策してみられる。いつも丁寧な指導助かっています。	ご相談等の申し入れがあった際には迅速に対応できるよう体制を整えております。また、LINEやお電話でのご相談も可能となっております。今後も引き続き迅速な対応ができるよう努めてまいります。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	48	3	0	0	LINEも活用され、ありがたい。	お子さまの状況に合わせてフィードバック時・お電話・LINE・書面等を活用した情報伝達を行っております。今後も継続してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	34	4	2	11	前まではイベントの様子などをインスタで教えてくれていたが、最近はないので寂しいです。	Instagramの更新が遅っており、ご迷惑をおかけしております。今後はHPやSNS等を積極的に活用し、お子さまやご家族の皆さまに活動内容の発信ができるよう徹底してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	50	1	0	0	たぶん。見えない部分なので。	個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。個人情報にアクセスできる端末についてはパスワードを設定するなどして適切に対応しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	36	5	1	9	マニュアルはあるが、いざ子どもたちと逃げるとなると、といった訓練がないのであると思います。昔・年頭の実施はみる機会はないですが、感染症マニュアルは教室やHPで確認しました。	各種マニュアルについて作成しております。また、各種災害を想定した訓練を実施しております。今後、お子さまが参加できる形で訓練も検討してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	8	1	20	上と同じこととなりますが、職員だけでなく子どもたちにもしてあげてください。(イベントみたいな感じで)どこに避難したらいいか、自分の名前や住所などを伝えるかなどチェックしてみるのいいと思います。	火災・地震・水害などに備えた避難訓練を毎月行っております。訓練の様子については玄関に掲示しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	43	2	1	5		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	37	3	1	10	員会が悪くなったりするとすぐに連絡が来るので良いと思います。事故が起こっていないので。	安全計画を作成し、けがや事故等が起きないように、また万が一起きた際にも迅速な対応ができるよう努めております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	51	0	0	0	学校でトラブルがあっても「きらりがあるから」と下校し、支援が終わった後は元気を取り戻せる、安心できる場所です。学校では受け入れられてもらえないことも多いのできらりさんでは安心して自分を出しているようです。スクラッチやゲームなど本人の好きなことをアクティビティに組み入れてくださってありがたいです。おかげさまで楽しく過ごしているようです。	嬉しいお言葉をありがとうございます。今後も通ってくださる誰もがきらりで過ごす時間が楽しく安心して過ごせる場所であるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	48	3	0	0	かれこれ6年近く言っていますが、先生がコロナ口変わっても楽しく行っています！とても楽しく通っています。	「また行きたい」と思っていたらよう今後も職員一同努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	49	2	0	0	いつも支援していただいてありがとうございます。今後もよろしく願います。おおね満足しています。職員の入れ替わりが大きいので今後どうなっていくのかなあ、と思います。子どもの苦手なことを見つけてくれ、それを克服できるようにいろいろ考えて実行していただき本当にありがたいです。感謝です！もう少しハードにしても可。	今年度、度重なる職員の異動等でご迷惑とご心配をおかけし、大変申し訳ありませんでした。職員の異動があっても変わらない支援提供ができるよう、事業所体制を整え、情報共有や引き継ぎ等確実に行っております。また、お子さま一人ひとりの発達段階やおかれている環境を把握し、ご家族の皆さまからのご要望等を踏まえた支援が提供できるよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名						公表日	2025年 2月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を尊守したスペースを確保しています。	プログラム内容やお子さまの人数に合わせ、適切な支援スペースでのサービス提供に努めます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令が必要とされる人数を配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリー化はおりませんが、お子さまの特性に合わせて対応しています。	お子さまの状況に合わせて支援環境に配慮いたします。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		お子さまが心地よく過ごせるよう清掃し、活動に合わせた環境作りを行っています。	引き続き定期的な清掃・消毒等を実施いたします。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お子さまの特性に合わせて、個室の提供が可能となっております。	職員の見立て、お子さま本人の申し入れ、ご家族の皆さまのご要望などを踏まえて今後も適切な環境で支援提供できるよう努めます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日々の振り返りを定期的な全体ミーティングや個別で行っております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ご家族の皆さまの要望、意向を確認し、業務改善につなげています。	ご家族の皆さまのからのご意見を真摯に受け止め、適宜改善していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に事業所ミーティングを行い、職員が働きやすい環境となるよう適宜業務分担を行い、改善を図っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在は、利用者様・社内の二者評価を取っております。	第三者による外部評価については、今後必要に応じて実施を検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		一か月間の初任者研修を実施し、その後も全ての職員を対象に継続的に研修を行っております。	新潟市等外部での研修にも積極的に参加し、資質向上に努めてまいります。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		公表に向けて支援プログラムを作成し、準備を整えています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的にアセスメントを取ったうえで個別支援計画を作成しています。	お子さまの成長のお力添えができるよう、計画作成のスキル向上に努めます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		アセスメントを基に個別支援計画を作成後、個別支援計画作成会議を行い、全職員に共通理解が図られるように検討しております。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画に基づいた療育支援を行っております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		統一したアセスメントシートを使用し、お子さまの現状を都度確認しております。	引き続き、ご家族の皆さまのお話や発達検査の結果等、他方面からの現状把握に努めます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人支援・家族支援・移行支援等について個別支援計画に明記し、お子さまのアセスメントや支援時のフィードバックの際にご家族の皆さまからニーズをお聞きたものをもとに支援内容の設定を行っています。	必要に応じて個別支援計画を見直し、その都度必要となる支援を提供してまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		個別支援計画に基づいた療育支援を行っています。		

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		支援についての情報共有やプログラム立案は毎日行い、お子さまの状況に合わせた支援を行っております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別療育と併せて週1回程度、小集団療育も実施しております。多方面にお子さまの成長をサポートできるよう支援を行っております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼を毎日行い、職員間での情報共有を必ず行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼を毎日行い、職員間での情報共有を必ず行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録を取り、見直すことでお子さまの成長や取り巻く環境の変化に合わせて支援内容や方法を共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に個別支援毛核の見直しについての面談の時間を設けています。	今後も定期的なモニタリング・面談を通して適切に見直しが行われていくよう努めます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		お子さまの状態に合わせて自立支援や創作活動・余暇時間などを複数組み合わせ支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		お子さま自身が遊びの内容を考えたり、取り組む活動を選んだりできるよう支援毎に担当職員と相談しながら活動に取り組んでいます。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達管理責任者もしくは主に支援を担当している職員がサービス担当者会議に出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		お子さまが通っている保育園・幼稚園・こども園等と定期的に連絡を取り合うなどして連携体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		定期的に学校等と連絡を取り合ったり互いに見学に行ったりするなどして相互理解に努めています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて就学前の保育園・こども園・幼稚園等とも連携を図って相互理解に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて支援情報提供書を作成しお渡ししたり、移行会議に参加したりするなどして相互理解に努めています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターとお子さまの情報共有を行うとともに、必要に応じて支援についてご助言当りいただいております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域交流については、限られた支援時間の中での実施が難しいことから現在実施しておりません。	個々のお子さまの状態に応じて、必要があれば個別支援計画に位置付けたりうて実施できるよう調整いたします。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			今後開催の通知があった際には積極的に参加してまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援終了後にご家族の皆さまへフィードバックの時間を設け、その日のご様子やご家庭・学校でのご様子を相互に共有しております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		支援後のフィードバック時に家庭での対応方法について適宜アドバイス等しております。	今後は、ご家族の皆さまに向けたペアレントトレーニング等の実施ができるよう検討しております。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明をしております。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約前面談やモニタリング等を通じてご家族の皆さまの要望をお聞きしたうえで個別支援計画を作成しています。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画を示し、内容について説明するなどしてご家族の皆さまと一緒に確認を行ったうえで同意をいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		主に支援後のフィードバック時に相談に応じております。また、家族支援の時間を設け個別面談を実施する場合があります。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		今夏にご家族の皆さまを対象に「きらりカフェ」を実施いたしました。2月にも実施予定です。	今後も定期的に開催できるよう体制を整えてまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		お子さまやご家族の皆さまからの申し入れについては迅速な対応を心掛けております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		連絡体制についてはLINE等を活用しております。HP・SNSでの活動報告が滞っておりますので改善いたします。	HPやSNS等を積極的に活用し、お子さまやご家族の皆さまに活動内容の発信ができるよう徹底してまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。個人情報にアクセスできる端末についてはパスワードを設定するなどして適切に対応しております。	引き続き、個人情報の取り扱いには十分留意し、個人情報保護について全職員で徹底して取り組んでまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚情報などを活用しながらその時の状態に合わせた意思疎通・情報伝達を行っております。	今後もお子さまやご家族の皆さまの状況に合わせた配慮を行ってまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		お子さまの特性等を踏まえ、現在は教室解放などは実施しておりません。	ご要望などあった場合には実施できるよう検討してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定し、研修を実施しております。また、毎月避難訓練を実施しております。実施報告については玄関に掲示しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、必要物品の備蓄をおこなっております。また、毎月避難訓練を実施し、非常災害の発生に備えております。	今後も定期的な訓練と備蓄品の管理を行い、非常災害の発生に備えてまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約前の面談時と1年に1回必ずお子さまの状況や服薬・持病等について確認しております。また、フィードバック時などにも適宜確認しております。	今後も、利用開始前にお子さまの状況を確認させていただきご家族の皆さまと共通認識を持てるよう努めます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーの有無について確認し、支援時に該当物質との接触が起こらないよう留意しております。	食事提供はありませんが、アレルギーについて確認を取り、必要に応じて医師の判断に基づいて対応いたします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、研修・訓練を実施しております。また、事業所内で安全に過ごせるよう環境を整えております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全確保のために事故や災害発生時の対応について共有するとともに緊急連絡先を控えるなどして対応しております。	今後もご契約時の説明等を徹底し、安全確保について共通認識を持てるよう努めます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が怒った際には、報告書を作成・保管し職員間で共有して再発防止について都度検討しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修やストレスチェックなどを定期的実施し、適切な対応ができるよう徹底しております。	今後も全社員が研修を受け、適切な対応を徹底してまいります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。			研修を実施し、事業所全体で共通認識・理解を図っております。ご家族の皆さまへは契約時に丁寧な説明を行い、利用契約書・個別支援計画にも記載しています。	身体拘束が必要なケースは現在ありませんが、必要に応じて適切に対応してまいります。	